

# 大垣桜高等学校 トピックス

平成 30 年度 専門高校活性化に向けた総合戦略事業

「専門高校における地域の特色を生かした教育の実践研究」

掲載日 平成 30 年 7 月 31 日(火)

## 未来の素材について、提案します！！

平成 27 年度から 3 年間、文部科学省指定 「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業」に取り組みました。その研究内容を継続、発展させるために、今年度は、岐阜県教育委員会指定、「専門高校活性化に向けた総合戦略事業」に 1 年間取り組みます。

<具体的な取組>

- ①地域産業との連携を深め、オリジナル開発商品の提案
- ②ICT の活用技術の向上
- ③新素材に関する知識の習得

今回は、③の内容について、科目「ファッションビジネス」において学習します

<講義> 平成 30 年 7 月 12 日 (木)

対象：服飾デザイン科 2 年生(37 人)

3 年生(39 人)

講師：KDS 神山デザイン事務所

神山勝雄氏

<講義の内容>

- 1. ファッションと素材
- 2. アパレルの中のデザイナーの役割
- 3. 日本発信の新素材
- 4. 日本のファッション産業の歴史
- 5. 地方の発信で世界
- 6. 夢の素材、夢のデザイン
- 7. デザイナーの資質、求められる人材



<講義の様子>



今回の講義を聞いて、研究課題は・・・「夢の素材・私たちが幸せになれる素材の提案」です。

夏季休業を利用して、調査・研究を深めて 2・3 年生で挑戦します！！

<生徒感想>アパレルではどんな仕事があり、アパレルとデザイナーとの関係や、役割がどのよであるかを理解できました。アパレルではチームワークで仕事が進み、個々の力やスキルが要求され、バイタリティが必要であることがわかりました。イッセイミヤケが出したブランド「132 5」は紙面で見たことがあるけれど、実際に着用して見て、一枚の折りたたんだ布が立体になった瞬間、とても感動しました。これから、私たちは地域産業をもっと知り、夢の素材や夢のデザインが提案できるように、調査研究を進めていきたいです。5 年後、10 年後、私たちが提案した夢の素材が本当に市場に出ることも期待して考えたいです。